

宮城県古川黎明中学校・高等学校  
進路指導部 文責 山田 直人

## 前期中間考查終了 高3進学課外Ⅱ期が始動

## ●高3進学課外Ⅱ期について

6月24日（火）から9月9日（火）まで、高3進学課外Ⅱ期が始まります。Ⅱ期は前期期末考查の前までの間に共通テスト対策や記述問題対策など、各教科・科目の教員が生徒の第一志望合格をサポートします。時程については以下の通りで、1コマ70分となります。高1・高2・中学生のみなさんも、高3のこの時期にある進学課外を受けている自分を想像しながら、黎明での貴重な日々を充実させてほしいと思います。

時 程 授 業 日 ①16:15～17:25 (②17:35～18:45 ※設定なしの場合あり)

土曜・夏休み ① 8:30～9:40 ② 9:50～11:00 ③ 11:10～12:20

(④13:10～14:20 ⑤14:30～15:40 ⑥15:50～17:00 ※設定なしの場合あり)

## ●高3進路comⅢ 進路別ガイダンス

6月13日（金）に高3進路別ガイダンスを実施しました。大学・専門学校志望者には、推薦・総合型での出願の方法やメリット・デメリット、合格までの流れや合格後の心構えなどを話しました。難関大学志望者は5月から指導が始まっていますが、ここからすべての大学・専門学校志望者への指導が始まります。短大志望者には宮城誠真短期大学の井坂副学長を招聘し、短大に関する説明をいただきました。公務員志望者には、東京法律専門学校の齋藤氏を招聘し、公務員試験対策セミナーを実施し、民間就職志望者には、企業研究の時間を設けました。進路別の指導を充実させ、多方面で活躍する黎明卒業生OB・OGを育てます。

## ●R8大学入学共通テストについて 高1・高2の生徒もアンテナを高く早めの準備を！

今年度の共通テストは令和8年1月17日(土)18日(日)に行われます。日程を掲載しますのでご覧ください。  
今年度から「Web出願」という新しい出願方法となります。 詳細が分かり次第、説明を行っていきますのでご家庭でもお知りおきください。また、今回のキャリア通信から数回に渡って、本校教員による「共テ分析」を掲載します。高3だけでなく、高1・高2のみなさんも、分析を読みつつ、既習部分の問題にぜひチャレンジしてみてください。

1日目		2日目	
2科目受験 9:30～11:40	地理歴史 公民 10:40～11:40	2科目受験 9:30～11:40	理科
13:00～14:30	国語	13:00～14:10	数学①
15:20～16:40	外国語	15:00～16:10	数学②
17:20～18:20	リスニング	17:00～18:00	情報

## 【本校教員によるR7共テ分析】

## ★英語リーディング

共通テストの問題はToshin.comからの閲覧が便利です▶



分析・講評				
大問1	大問2	大問3	大問4	大問5
水槽で初めて魚を飼う人に向けたパンフレットを読み、その内容に関する問い合わせに答える。計3問で設問数は減少。昨年の大問1はAとBに分かれていたが、今年は1つにまとまり、昨年のBに近い形式で出題された。解きやすい単語が多く見られ、解きやすい問題であるが、問3など、文全体を読まなければ解けないような問題もあった。	イギリス人が書いた「空飛ぶ乗りもの」を題材にしたブログを読み、内容に関する問い合わせに答える。計4問で設問数は減少。大問1と同様に、昨年はAとBに分かれていたが1つにまとめられ、Bに近い形式で出題された。全体としては読みやすく、情報も見つけやすい問題であったが、問2のように、本文と問題の選択肢で、大幅に異なる表現がされている問題もあった。	「コンテストに応募したバンド」に関する物語を読み、出来事と時系列順に並べる問い合わせに登場人物の気持ちについての問題が提出された。計3問で、問1は物語の書き手を選ぶ新しい形式のものだった。英語の語数は300語程度で、設問数は減少したが、選択肢に紛らわしいものが多く、解答に迷う問題もあった。	事前に発表されていた「試作問題B」の形式。「スローライフの実践」についてのレポートと教師からのコメントを踏まえて、原稿を推敲するという形式の問題。ディスコスマーカーの補充や全体の要約になる文、文脈上補う必要がある文を選択し、論理的な文章になるよう適切に訂正するための力が問われている。計4問で、語数は340語程度。4技能のうちの「書くこと」を意識した問題である。	「地元ビジネスに関する会議」について、学生と教授のメールのやり取りを読み、添付された表から必要な内容を読み取ったり、メールの内容を表す図を選んだりする問題が提出された。また、内容から推論して答える問題もあった。語数は530語程度で、計5問。複数の部分を参照する必要がある設問もあるが、そこを見つけることができれば比較的解きやすい問題であった。
分析・好評				
大問6	大問7	大問8	今後（次年度）に向けての対策	本校生徒へのメッセージ
作家志望の友人が書いた「2人のスーパーヒーロー」についての物語を読み、その感想を書いたメールの空所を埋める問題。昨年に引き続き、物語が提出されたが倍数は大幅に減少した。計4問。物語が時系列で書かれていなきに加え、物語の設定やメールは作者に送るためのものであるということを理解する必要があるため、比較的に難易度は高かった。	昨年の大問6と形式が似ている。「動物の睡眠パターン」に関する記事を読み、プレゼンのために設計されたメモの空欄を埋める問題。設問にはほぼ本文の順番通りに構成されており、パラグラフリーディングが身についていると解きやすい問題であった。語数は650語程度で、難しい科学用語が多く見られた。	事前に発表されていた「試作問題A」の形式。「宇宙開発」に関する複数の意見と資料に基づいて、3段階のステップを踏み、レポートのアウトラインを作成する。英語は450語程度。ステップ1では5人の異なる意見を読み、2つの間に答える。ステップ2では、5人から自分の立場を支持する2人を選び、共通点を答える。ステップ3では、自分の立場の根拠となるものを追加資料から選ぶ。	共通テストに出題される英文の量は多いように思われるが、昨年と比べると減少している。また単語も基礎的なものが多く、教科書や学校で購入した英単語帳で学ぶことができるものがほとんどである（例えば、大問1から大問3の本文や設問に登場する英単語のうち、昨文社の「英単語ターゲット1400」に収録されているものは約120語で、残りは中学校で習う単語や固有名詞が多数を占める）。共通テストでは基礎的な単語の理解が求められ、それ同時に読み返さなくても英文を理解できる読み方を身につける必要がある。	左記で述べたように、共通テストに出題される英単語は基本的なものが多く、決して難しいものではない。また、英文の内容もいわゆる説明文は少なく、パンフレットやブログに書かれている情報を読み取り、問い合わせに対する適切な答えを述べる形が多いため、基本的な単語と文法に対する知識さえあれば、専門知識がなくても必ず理解できる内容になっている。次年度以降の共通テストに臨む生徒には、「選げなければ必ず詰めるようになる」という気持ちで学習を取り組んでもらいたい。特別な学習は共通テストには必要ないため、学校の課題には真剣に取り組んでもらいたい。

## ★英語リーディング

分析・講評				
大問1	大問2	大問3	大問4	大問5
A : 短い発話を聞き、内容に最も適している選択肢を選ぶ問題。内容の言い換えや要約などが問われ、会話全体の概要を把握する力が問われた。 B : 短い発話を聞き、内容に最も適している絵を選ぶ問題。読まれる語句の意味を理解し、発話内容の概要を把握する力が求められた。なお、設問数自体は3問から4間に減少した。	短い対話をそれに関する問い合わせ、その答えとして最も適切なものを選ぶ問題。場面説明と絵を参考に、要点を聞き取る力が問われた。それぞれの場面が日本語で表記されているため、状況は把握しやすい。なお、設問数自体は昨年までの4問から3間に減少した。	短い対話を聞き、問い合わせとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。日本語で書かれた対話の場面を参考に、英語の質問のポイントを把握する力が問われた。内容を正確に聞き取る力と、聞き取った内容を他の表現に素早く言い換える力が求められた。	A : グループの発表を聞き、グラフを完成させる問題と、天気予報を聞き、表を完成させる問題。前者では、グラフの増減を聞き取る必要があり、後者は、表のどの部分の説明を素早く理解する力が求められた。 B : 4人の話を聞き、問い合わせとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。複数の情報を聞き、その情報を比較しながら、答えを導く力が求められた。	贈答文化に関する講義を聞き、問い合わせとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。講義内容とグラフの情報を踏まえ、要点を把握する必要がある。問32では、昨年までの4つの選択肢を読み分ける形式から、2人の発言を聞き取る形式に変わった。問33では、昨年までの講義の続きを聞くという形式から、ディスカッションを聴き取る形式に変わった。
分析・好評		今後（次年度）に向けての対策		本校生徒へのメッセージ
大問6				
A : 食事のとり方にに関する対話を聞き取り、問い合わせとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。 B : 鳥にえさを与えることについての3人の会話を聞き取り、問い合わせとして適切な選択肢を選ぶ問題。テーマに対する各話者の立場を理解し、考えの根拠となる図表を判断する力が問われた。なお、昨年の4人の会話→3人の会話に変更され、理解しやすくなった。	リーディングと同様に、リスニングも反復練習によって、徐々に聞き取る力が身についてくる。そのため、共通テスト直前に急いで対策するのではなく、1日10~15分程度でもよいので、早い段階からリスニングに慣れておくことが重要である。また、過去問を繰り返し解くことで、問題の形式に慣れることができるので、その点においても繰り返し聞くことが大切である。さらに音読も重要である。人間は、自分が理解し、正しく発音できる語でなければ、正しく聞き取ることはできないため、授業内外を通して、発音に気をつけた音読の機会を設ける必要がある。			リスニング力の向上において最も重要なのは「諦めないこと」です。リスニング力は一朝一夕に身につくものではなく、実力の向上を実感し直らいため、学習に対するモチベーションを維持するのは難しい。そのため、この点を理解したうえで、10~15分程度の短い時間でも継続的に聞き続けることを心がけてほしい。リスニングは、努力を積み重ねていれば、必ず得点源になる分野である。特別な学習法は必要なく、週末課題や学校からの宿題に取り組む際にも、繰り返し学習を行ってほしい。

## ★数学Ⅰ A

分析・講評				
大問1	大問2	大問3	大問4	
[1] 数と式 因数分解や分母の有理化を正確に素早く行いたい。必要十分条件の判断も正確にしたい。目標5分以内。 [2] 図形と計量 (1) 計算はほとんどない。三角比の定義や正弦定理をきちんと理解しておけば、ソースは易しい。タチは、条件を組み合わせて導出しなければならず、気付かないときに時間が経過していく危険な問題。ここができるないと(2)の大部分にも関わってくる。何分で気付けるかが勝負の分かれ目となる。 (2) 判断を素早くした。一見、R2の方が大きそうだが、等しいことに素早く気付かなければならぬ。 (3) 正弦定理と余弦定理の計算のみで易しいが、タチが導出できないと解答不可。 【解答目標時間：20分】	[1] 2次関数 計算量は多くないが、必要な条件を取捨選択して、平方完成等を利用して解答する必要があり、解答には時間を要する。 [2] データの分析 四分位数、四分位範囲、分散、標準偏差等の理解が正しくできていれば難しくない。素早く処理して解答した。最後の仮説検定は要練習。今後も出題の可能性が高いだろう。 【解答目標時間：30分】	図形の性質 空間图形であるが、解答しやすい設問が多い。取りこぼしを防ぎたい。2つの面の垂直を考えるとこどろは、空間認知能力が重要なとなる。その後は、相似な三角形の性質や方べきの定理が正しく活用できれば、それほど難しくはない。 【解答目標時間：10分】	場合の数と確率 計算量は多くない。試行を行うごとに変わる状況を正確に読み取り計算を行う力が必要である。条件が変わっても、全問の法則性を見いだすことができれば完答も可能。条件が変わることによって、計算方法がどのように変化するか見極める力を類題で培いたい。 【解答目標時間：10分】	
今後（次年度）に向けての対策		本校生徒へのメッセージ		
全体的に標準的な難易度である。今年度の傾向としては、計算量はぐっと減ったが、条件を変えるとどうなるかなど、考える時間が必要な問題が多い印象であった。すべての単元において、様々な事柄の定義や性質をしっかりと頭に入れておかなければ解答が難しいと感じた。教科書を丁寧に学習し、基礎知識をおろそかにしないことが重要である。	教科書の定義をすべて頭にいれてくれださい。また、教科書傍用の問題集は高1・2年生のうちに2周以上して、どの問題でもみれば解く方針が思い浮かぶようにしておくことをオススメします。高3になると共通テストの演習に入ります。そこからは教科書傍用の問題集をで学習できる時間が限られます。おそらくも部活引退までには問題集を見る程度で解けるようになります。			
大問3及び4は解きやすく、それほど時間もかからない。大問1 [2] (1) タチが導出できるかどうかで、得点が大きく変わる。また、大問2 [1] にどの程度時間をかけるかも判断が難しかっただろう。	以下、2025年度共通テストで解けてほしい問題を挙げておきます。			
		大問1 大問2 大問3 大問4 アイ アイウエオ アイ イ ウエオカ カキ ウ エオ カ エオカキ キク ケ タチツ キク ク コサシスセ ナニヌ タケコサンスセ		

## ★数学Ⅱ B C

分析・講評				
大問1	大問2	大問3	大問4	大問5
三角関数 三角関数の性質を理解していれば、前半は易しい。 $\sin$ 及び $\cos$ と $x$ 座標及び座標の関係はしっかり理解しておきたい。 $\alpha + \beta$ が $\pi$ 、 $2\pi$ 、 $3\pi$ のときを考えればよいことに素早く気付き、他の問題にかける時間を確保したい。 【解答目標時間：10分】	指數関数・対数関数 対数の基本性質を理解していれば、前半は易しい。サインは指數関数と対数関数の性質を正しく活用して、正答にたどり着きたいところである。 【解答目標時間：10分】	微分・積分 導関数が等しい、異なる2つの関数について考察する問題であった。具体的な数値が示された(1)は易しい。最近の流行であるグラフの構形を問う問題は落としたくないところ。積分と面積の関係について正しく理解し、なんとか完答を目指したい。 【解答目標時間：15分】	数列 格子点の問題は、ある程度数えて、法則性を見いだし、立式すればそれほど時間をかけずに正答にたどり着ける。(2)から(3)にかけて複雑になっているように見えるが、法則性を見付けて、素早く解答したい。 【解答目標時間：10分】	確率統計 試作問題では出題されていない「片側検定」が出題された。正規分布や二項分布について正しく理解できていれば、難しくない。信頼区間や有意水準等の問題も、教科書で扱うレベルの問題である。様々な性質や公式等を確実に自分のものにして挑めば、完答可能である。 【解答目標時間：15分】
大問6		今後（次年度）に向けての対策		本校生徒へのメッセージ
ベクトル 空間ベクトルの問題であった。ベクトルの内積や成分表示など、基本事項を理解していれば、前半は解答できる。(2)は(1)で法則性を見いだせれば、同様の計算によって(2)も解答できる。(3)については計算が多くなるが、計算力のある生徒は完答可能。解答の見通しを立て、なるべく素早く計算で処理したい。 【解答目標時間：15分】	複素数平面 初年度ということもあり、易しめの問題になった。偏角や共役な複素数の性質、複素数を含む式が表す图形についての理解がしっかりできている生徒にとっては、選択問題の中では、最も時間をかけずに正答にたどり着ける問題構成であった。 【解答目標時間：10分】	数学ⅡBCもリード文が長くなり、読解力や思考力・判断力がより必要になってきている状況である。普段から、計算問題のみではなく、リード文の長い文章題も解く習慣をつける必要がある。また、設問の中で、問題が進んで行くと、条件が変わっていき、その中で法則性を見いだして正答を導く問題が非常に多くなった。条件を変えたときに、どのような変化が起こるかといった問題も訓練する必要がある。	教科書の定義をすべて頭にいれてくれださい。教科書傍用の問題集は高1・2年生のうちに2周以上して、どの問題でもみれば解く方針が思い浮かぶようにしておくことをオススメします。高3になると共通テストの演習に入ります。そこからは教科書傍用の問題集をで学習できる時間が限られます。おそらくも部活引退までには問題集を見る程度で解けるようになります。	
大問6	大問7	今後（次年度）に向けての対策		本校生徒へのメッセージ
各大学の最新の入試情報は『河合塾 Kei-Net』での確認が便利です。右の二次元コードよりご覧頂けます。大学ごとに入試の種類も多岐にわたります。小まめな確認をお願いします。				

各大学の最新の入試情報は『河合塾 Kei-Net』での確認が便利です。右の二次元コードよりご覧頂けます。大学ごとに入試の種類も多岐にわたります。小まめな確認をお願いします。